キング・レポート
KING REPORT 商売に役立つ情報満載
発行：2022年5月21日
株式会社キングコーポレーション

01 ネット時代の成功例に学べ！ ユーザーが目を離せないAR技術

▶直火焼きの香ばしいパティを売りにしているハンバーガーチェーンK社がイギリスで、AR（拡張現実）を利用したキャンペーンを行った。

屋外に掲示された広告にハンバーガーの写真とQRコードがついている。これをInstagramのアプリで読み込んで画面を見ると、外から広告のバーガーに白い煙がたなびいて来る。煙をたどると、最寄りのK社の店舗が出所だ。

香ばしそうなARの煙に誘われて店へ入ってしまったユーザーもいたそうだ。

▶アメリカの雑誌に、ネット時代でマルチタスクが求められる現代人の多くは、9秒しか記憶できない金魚よりも集中力が低いという記事が掲載された。

その話題を、金魚の形をしたスナック菓子を販売する食品会社がキャンペーンに使った。

スマホ画面に金魚のスナック菓子が落下するスロー映像が流れる。その金魚から目を逸らさず、瞬きもせずに9秒間見つめると割引クーポンがもらえる。途中に現れるメールや電池残量の通知に目線を動かすと失敗だ。目の動きは、顔の動きに合わせて画面上で装飾を施すAR技術を使って感知する。

簡単そうだが実際は難しく、何度もトライする人が続出した。

02 繁栄企業の成功要因を探る SDGsを意識した活動がプロモーションにつながる

▶原材料に乳製品を使用しないアメリカのアイスクリームブランドは、パッケージにCO_2排出量を表示している。

乳牛の飼育過程で多くのCO_2が排出されるが、乳製品を使わない同社のアイスを1パイント（約570ml）作るのに排出されるCO_2は、乳製品から作られるアイスより34%少ない。そのことをパッケージでアピールしている。

また、同社はサトウキビで作った紙製の容器を商品パッケージに使用して、SDGsに関心の高い消費者の声に応えようとしている。

▶イギリスで自然環境保護を重視するビールメーカーが、西部のリゾート地・コーンウォールのビーチで、エコ建築の専門家が設計したオープンテラスのビールバーを期間限定で開設した。

設備は天然素材を使用し、カウンターもソファもテーブルも砂を固めて作ったもので、テーブル席では夜、竹を編んだランタンを灯す。すべての素材がリサイクルでき、SDGsに配慮されている。

屋外でビールを楽しみたいが、自然を汚したくない。と、考える多くの若者に大好評となった。

Check! 要チェック！ 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識

マーケティングやプロモーションに使えるSNS最新機能《Twitter・TikTok・LINE編》

日々アップデートされるSNSの機能。その中から今回は、Twitter、TikTok、LINEのプロモーションに使える機能を紹介する。

Twitterが音声機能を追加

Twitterが、スペースという音声会話ができる機能を追加した。スペースの作成者であるホストが発言、招待、終了などの権限を持ち、ホストから招待、または参加を許可されたスピーカーも発言権がある。最大11人が同時に発言でき、聴取できるリスナーの数に制限はない。会話はスマホからの参加に限られるが、リスナーとしてならばPCのブラウザからも参加できる。

音声で直接コミュニケーションしたり、ラジオのように聴かせたりすることで、多くの人々に興味を持ってもらえる可能性が高まる。

TikTokのプロモート機能

動画SNSのTikTokでは、投稿した動画の閲覧数を増やすプロモート機能がある。目的は、動画視聴数増加、ウェブサイト訪問数増加、フォロワー数増加の3つから選べ、年齢・性別・興味関心に基づいた詳細なデータからリーチしたいターゲットに動画を届けられる。期間は1日単位で設定でき、費用は希望の動画視聴数に応じて変化する。

プロモート期間中および期間終了後、動画の視聴回数、リンクのタップ数、「いいね」やシェアの数、年齢層と性別の割合など、パフォーマンスを確認できる。

LINEの動画SNS機能

メッセージツールとして利用されているLINEが、タイムラインから置き換える形で動画を投稿できるLINE VOOMを始めた。

LINE VOOMのアカウントは、LINEの友だちはもちろん、それ以外のユーザーもフォローできる。これまでのタイムラインでは投稿がLINEアカウントの友だちに表示されていたが、LINE VOOMへの投稿はTwitterやInstagramのようにフォロワーに表示される。フォロワーがその投稿をシェアすると、LINE VOOMでつながっている他のユーザーに投稿が表示され、LINEの友だち以外にも情報を広げることができる。

また、「おすすめ」のページには、フォローの有無に関係なく、多様なコンテンツが表示されるため、ここでもLINEアカウントの友だち以外のユーザーの目に留まるチャンスが増える。

LINE VOOMで配信したコンテンツは後から削除できるので、気軽に情報発信できる。

SNSの機能は今後も進化し続けるため、常にチェックが必要となるだろう。

※本記事内の情報は2022年4月現在のものです。

株式会社キングコーポレーション
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目7番23号
tel:052-961-7661 fax:052-961-7662
HP:http://www.king-corp.co.jp/